

製品名: アルテミンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01678**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 23 kDa; Observed MW: 23 kDa

抗原情報

遺伝子名	ARTN
別名	Enovin; Neublabin
遺伝子 ID	9048
SwissProt ID	Q5T4W7
免疫原	ヒトアルテミンの合成ペプチド

背景

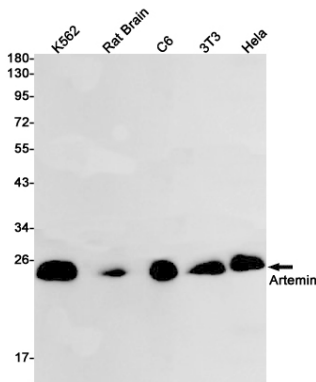
GFR- α 3-RET 受容体複合体のリガンドであるが、GFR- α 1-RET 受容体複合体も活性化することができる。培養下において感覚および

交感神経末梢ニューロンの生存をサポートするほか、中脳腹側部のドーパミン作動性ニューロンの生存もサポートする。腸管造血細胞を強く誘引し、腸管関連リンパ組織の主要構成成分であるパイエル板様構造の形成を促進する。

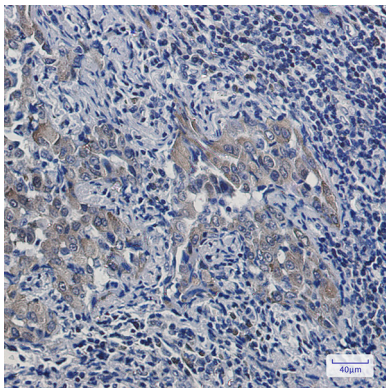
研究分野

神経科学

画像データ



K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中のアルテミンをアルテミン抗体を使用してウエスタンブロット分析しました。



アルテミン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。